取扱説明書（品番：PMC）

POWER MONITOR
0-100km/h TIME
WATER TEMP
VOLTAGE

この度はPIVOT製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき、ご理解のうえで装着・使用してください。
なお、本書は大切に保管してください。

⚠ 警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **換気の悪い場所で作業しない**
  排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- **コードの被ふくを傷付けない**
  ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。
- **運転中に操作をしない**
  運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- **製品の固定、配線処理は確実に行う**
  製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- **DC12V車で使用する**
  本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- **装着直後は製品に強い力を加えない**
  両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- **薬品類は使用しない**
  ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
  アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- **高温となる場所や水のかかる場所には装着しない**
  故障の原因となります。
- **ネジ・部品は元の状態に戻す**
- **まぶしく感じる場所には装着しない**
- **加工・分解および改造をしない**

1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。
2. 故障診断コネクターを利用する他社の製品とは併用できません。
3. PIVOT製OBD2装着製品の併用についての詳細は、こちらをご確認ください。 ⇒ *http://pivotjp.com/obd/*

内容物をご確認ください

モニター [50×34×14(D)mm]

ユニット [51×35×20(D)mm]

OBDコード（ヒューズ3A）

IGNコード（ヒューズ3A）

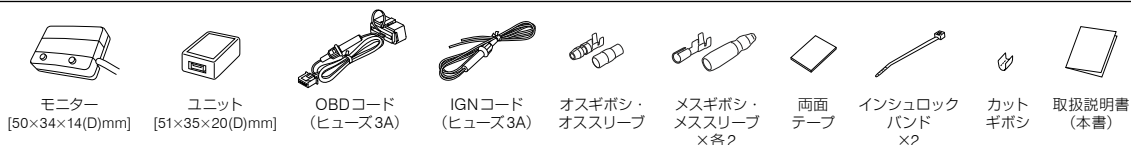
オスギボシ・オススリーブ

メスギボシ・メススリーブ ×各2

両面テープ

インシュロックバンド ×2

カットギボシ

取扱説明書（本書）

特長

簡単装着で0-100km/h等の加速タイムを自動計測しパワーチェック

■ 加速タイム
停止時から設定速度までの加速タイムを自動計測
測定速度＝40/60/100(km/h)
※一般公道では制限速度以下で計測を行ってください

■ 複数表示
加速タイム、水温、電圧を表示

■ 簡単装着
故障診断コネクターへカプラーオン

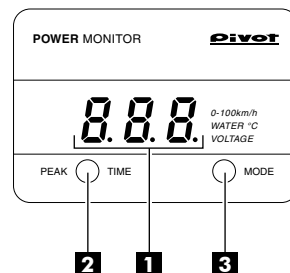
■ 薄型モニター
14mmの薄型フラットデザインで違和感のない装着

■ ピークホールド
水温は最高値を、電圧は最低値を表示可能

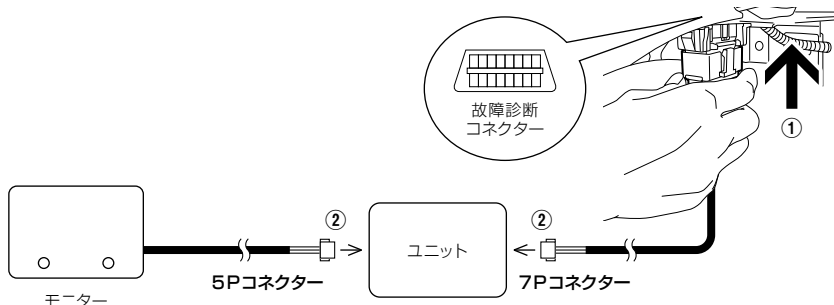
各部の名称

1 表示部
加速タイム・水温・電圧を表示

2 PEAK/TIMEスイッチ
ピーク値表示とタイム計測に使用

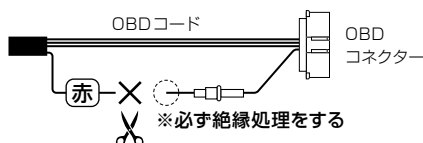
3 MODEスイッチ
表示モードの切り換えに使用

配線接続方法

① **OBDコネクターを故障診断コネクターに差し込む。**

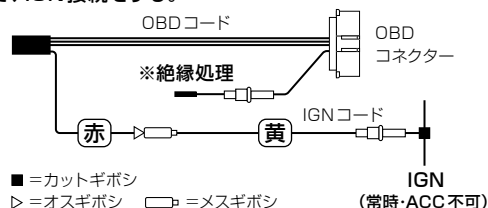
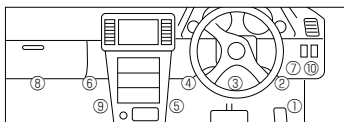
② **モニターの5PコネクターとOBDコードの7Pコネクターをユニットへ差し込む。**

ユーロ車(BMW･MINI･VW･AUDI)への接続

●電源の取り出しを故障診断コネクターの常時から、IGNに変更してください。

IGNとは ⇒ **キー ONと同時に12V** かつ **キー OFFと同時に0V**

①OBDコードの 赤 コードをカットし、カットしたOBDコネクター側のコードを絶縁処理する。

②下図のように、カットギボシとギボシ・IGNコードを使用して、IGN接続をする。

【資料】故障診断コネクター位置図

① アクセルペダル脇
② 運転席足元右側（フタ付の場合あり）
③ 運転席足元中央（フタ付の場合あり）
④ 運転席足元左側（フタ付の場合あり）
⑤ センターコンソール右脇
⑥ 助手席足元右側
⑦ ステアリング脇パネル裏（フタ付）
⑧ 助手席足元左側
⑨ センターコンソール左側
⑩ ステアリング右パネル（小物入れ上部）

メーカー	位置	メーカー	位置
トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④
ミツビシ	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤

【参考1】OBDコネクター取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

⚠注意
コネクター抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクターが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。

【参考2】ギボシの使い方（※図はオスギボシの例です）

1	2	3	4	5	6
コードにオススリーブを通す。	コードの先端を10mmくらいむく。	先端を折り返す。	オスギボシにコードをセットする。	内側の圧着部は芯線と、外側の圧着部は被ふくの上からそれぞれ圧着ペンチで確実にかしめる。	オススリーブを各かしめ位置に固定する。

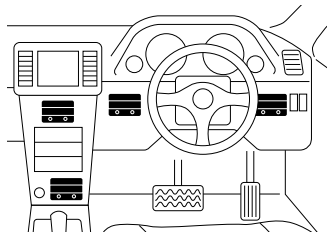
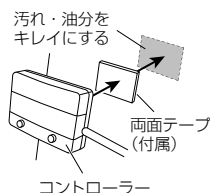
※オス・メスギボシは接続後、オススリーブがメススリーブの内側に入るようにしっかりねじ込む。

【参考3】カットギボシの使い方

1	2	3	4	5	
接続するコードの被ふくをむく。	製品コード先端の被ふくをむく。	両方の芯線を絡める。	確実にかしめる。	ビニールテープで絶縁する。	※かしめる際は圧着ペンチを使用するか、ペンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

製品の固定

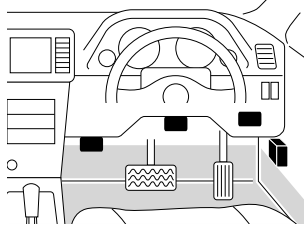
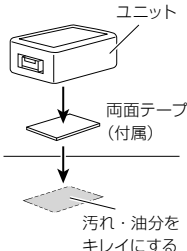
●モニターの取り付け

操作しやすく表示の見やすい場所に両面テープで固定してください。

（装着場所例）

（装着方法）

●ユニットの取り付け

水がかからない場所に両面テープで固定してください。

（装着場所例）

（装着方法）

⚠ **配線はテープなどで収納してください。**

使用中に配線がからまると運転操作に支障をきたします。
また、コードが挟み込まれると、ショートなどの原因となり、大変危険です。

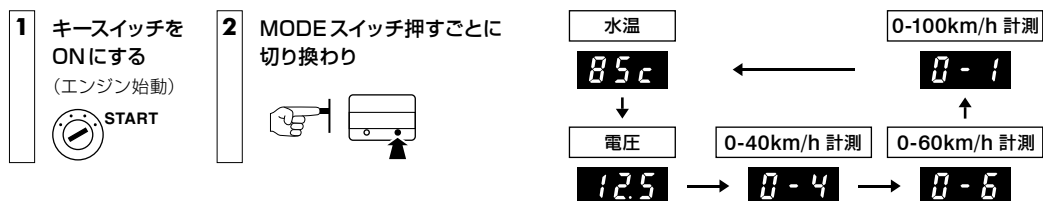
操作方法

CAN通信解析のため、エンジン始動から表示が点灯するまで最長５秒かかる場合があります。また、ECU電源に連動しているため、車種によってはエンジン停止から表示が消えるまで最長３分かかる場合がありますが、正常な動作です。

モードの切り換え

1 キースイッチをONにする
（エンジン始動）

2 MODEスイッチ押すごとに切り換わり

12.5 → 0-40km/h 計測 0-4 → 0-60km/h 計測 0-6 → 0-100km/h 計測 0-1 → 水温

ピーク値表示とピーク値リセット（水温：上昇側 / 電圧：下降側）

ピーク値表示

1 水温または電圧表示中にPEAKスイッチを押す

2 ピーク値表示

ピーク値を点滅表示。

3 通常表示

スイッチをはなしてから
３秒後に通常表示に戻ります。

※各ピーク値はキー OFFでリセットされます。

ピーク値リセット

1 ピーク値表示中にPEAKスイッチを３秒長押し

2 ピーク値リセット

点滅表示が点灯に切り換わります。

3 通常表示

電圧計による最低電圧測定

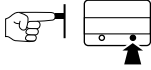
1 キースイッチをONにして通常表示にする

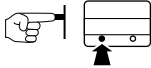
ブレーキ踏まず
２回押す

2 エンジンを始動しピーク値表示にて最低電圧を確認する

ブレーキ踏み
１回押す

●バッテリーの電圧が新品時より約1V以上低い場合は交換や充電をお勧めします。

タイム計測 (0-40/60/100km/h 計測) ※一般公道では制限速度以下で計測を行ってください

1 計測をスタートさせたい場所でクルマを止める。

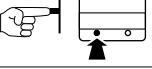
停止

2 MODEスイッチを押し、計測したいモードにする。

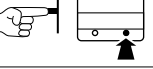
0-100計測の場合

0 - 1

3 TIMEスイッチを押し、計測をスタンバイ状態にする。

スタンバイ完了

0.00

4 クルマを発進すると自動的に計測が始まる。
(ブザー音が0.5秒鳴ります)

発進

5 設定速度に到達した時点で、計測されたタイムを表示します。
(ブザー音が1秒鳴ります)

8.25
(例=8秒25)

再計測するとき	モード変更するとき
TIMEスイッチを押し、手順4へ。	MODEスイッチを押し、モード変更。

- ●計測終了後にスイッチ操作を行うと、計測データは消去されます。
- ●計測最大時間は59秒9までとなります。
- ●59秒9を越えると表示が手順2に戻ります。
- ●計測中に停車した場合は手順2に戻ります。

表示範囲と表示の見かた

水温 表示範囲：-35〜150°C 表示単位：1°C			電圧 表示範囲：8〜18V 表示単位：0.1V	タイム計測 表示範囲：0秒〜59秒9	
-35 〜 -1°C	0 〜 99°C	100 〜 150°C	中央の7セグのドットが表示	0秒 〜 9秒99	10秒 〜 59秒9
左の7セグが -(マイナス) 表示	右の7セグが c 表示	数値のみの表示	※一部車種では電圧が表示できません。詳細は対応車表をご確認ください。	左の7セグのドット表示 0秒01単位で計測	中央の7セグのドット表示 0秒1単位で計測

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	対　策
タイム計測でスタンバイ状態にならない。	クルマが完全に停止していない。	クルマを完全に停止してからTIMEスイッチを押す。
純正メーターと計測速度に差がある。	純正メーターは多少高め（約10km/h）に表示されます。	本製品が正しい表示です。
始動時に前回のモードから始まらない。	モード切り換え後3秒以内にエンジン停止した。	モード切り換え時は3秒以上後にエンジンを停止する。
エンジン始動で動作しない。	5Pコネクター、7Pコネクター、OBDコネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。

株式会社ピボット　〒390-0313　長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901（代）　http://pivotjp.com/